NEWS

Daily Cargo紙面版のご紹介

Daily Cargoは、40年以上の歴史を持つ国際物流の専門紙です。航空・ロジスティクス・海運分野を網羅し、国内外のネットワークを生かした取材を通じて最新動向や市場動向を発信。エリア別・品目別の特集号も発行する“現場目線の情報源”です。

■体　裁：A4縦型／横組（タテ297mm×ヨコ210mm）、16ページ
■購読料：1カ月10,000円（税込10,800円）
■発行日：月～金曜（祝祭日、当社の定める休業日を除く）
■創　刊：1979年11月

紙面版 広告メニュー価格表〈純広告〉

掲載枠	サイズ（天地×左右）	掲載料金（税別）		掲載回数	備考
		カラー	モノクロ		
題字横（1面）	36 × 55mm	¥50,000	—	1回	
表紙下（1面）	86 × 180mm	¥500,000	—	1回	
表3	260 × 180mm	¥600,000	—	1回	
表4（裏表紙）	260 × 180mm	¥700,000	—	1回	A4別冊特集号のみ
記事中（1ページ）	260 × 180mm	¥500,000	¥340,000	1回	掲載面は航空／海運／ロジスティクスから選択
記事中（1/2ページ）	120 × 180mm	¥250,000	¥170,000	1回	
記事中（1/4ページ）	60 × 180mm	¥120,000	¥90,000	1回	
コラム下	60 × 180mm	¥250,000	¥170,000	1回	
求人（4回/1セット）	60 × 180mm	¥300,000	¥200,000	4回	掲載面は航空／海運／ロジスティクスから選択

※同一広告枠で複数回の掲載をご希望の場合、掲載回数に応じて割引を適用いたします。6回以上で10%、12回以上で20%、24回以上で30%割引となります。
※特集や企画内容により、名刺広告の設定もございます。

紙面版 広告メニュー価格表〈記事体広告〉

掲載枠 （中面のみ）	文字数 （写真・図版含む）	掲載料金 （税別）	掲載回数	備考
1ページ	本文は約1,000文字 画像2～3点を推奨	カラー ¥650,000 モノクロ ¥450,000	1回	持ち込み記事の場合は、当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。
2ページ	本文は約2,000文字 画像5～6点を推奨	カラー ¥1,300,000 モノクロ ¥900,000	1回	持ち込み記事の場合は、当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。

※同一広告枠で複数回の掲載をご希望の場合、掲載回数に応じて割引を適用いたします。2回以上で10%の割引となります。
※記事上部に「PR」と表示されます。

題字横

Daily Cargo
〈紙面版〉

表紙(1面)の題字「Daily　Cargo」および掲載日表示のそばの広告枠です。

日付は都度確認されるため、題字横広告は目にとまりやすい傾向があります。枠自体は小さいですがリーズナブルな料金での掲載が可能。長期的な複数回掲載におすすめしています。

■広告寸法：天地36mm×左右55mm
■掲載回数：1回
■料　　金：カラー50,000円(税別)

※掲載希望の方は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載日がある場合は、お早めにお問い合わせください。

表紙下

Daily Cargo
〈紙面版〉

最も目を引く広告枠です。

その日のトップ記事の下、「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードのトピックスの下に位置しています。同枠の活用は、大きなPR効果を期待できます。

■広告寸法：　天地86mm×左右180mm
■掲載回数：　1回
■料　　金：　カラー500,000円（税別）

※掲載希望の方は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載日がある場合は、お早めにお問い合わせください。

表3

Daily Cargo 〈紙面版〉

表4の裏側にあたる、紙面1ページ分全面を活用した広告枠です。

利用スペースが大きいため、PR内容をしっかりと表現することが可能です。

■広告寸法：　天地260mm×左右180mm
■掲載回数：　1回
■料　　金：　カラー600,000円（税別）

※掲載希望の方は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載日がある場合は、お早めにお問い合わせください。

表4（裏表紙）

※A4別冊特集号のみ

Daily Cargo
〈紙面版〉

裏表紙となる表4の紙面1ページ分全面を活用した広告枠です。

利用スペースが大きいため、PR内容をしっかりと表現することが可能です。A4別冊特集号のみの広告枠です。

■広告寸法：天地260mm×左右180mm
■掲載回数：1回
■料　　金：カラー700,000円（税別）

※掲載希望の方は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載日がある場合は、お早めにお問い合わせください。

記事中(1ページ)

Daily Cargo
〈紙面版〉

紙面1ページを全面的に活用した広告メニューです。
大きな掲載スペースを活かし、PR内容を効果的に訴求できます。「Air」「Logistics」「Ocean」の各カテゴリーから掲載先をお選びいただけます(ページ指定はできません)。

■広告寸法: 天地260mm×左右180mm
■掲載回数: 1回
■料　　金: カラー500,000円(税別)／モノクロ340,000円(税別)

※掲載希望の方は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載日がある場合は、お早めにお問い合わせください。

Cargo 2025年3月10日(月) 第三種郵便物認可 Air Logistics Ocean 5

再生可能ディーゼル燃料で協力へ

■HACTL、シェル香港と

香港国際空港で最大の独立系上屋会社、香港エアカーゴターミナルズ(HACTL)は4日、石油大手のシェル香港と、再生可能ディーゼル燃料に関する戦略的協力について覚書(MoU)を締結したと発表した。シェル香港にとり、再生可能ディーゼル燃料の分野では、HACTLが初の戦略的協力相手だという。

同MoUには、電気自動車の充電設備やHACTL上屋「スーパーターミナル1」のグランドハンドリング関連設備についての協力も含まれている。

今回のMoUは、従来の協力関係を強化するもの。両社は2024年4月から1年間の、香港空港管理局が主導する空港全体のプログラムの中で、ランプ車両の一部を対象とした、水素化分解植物油(HVO)導入の評価を行った経緯がある。

HACTLのウィルソン・クオン・チーフエグゼクティブは「HVOはエンジンの改造を必要とせず、季節や気候条件の変化にも対応できる。シェル・リニューアブル・ディーゼルは、当社がこれまで使用してきたB5/B7バイオディーゼルよりもやや高価だが、当社の調査では、従来の石油由来のディーゼル燃料と比較して、ライフサイクルでの温室効果ガス排出量を劇的に削減できることが確認されている。再生可能ディーゼルを全面的に採用することで、スコープ1の温室効果ガス排出量を40%削減することができる」と期待感を示した。

HACTLは、牽引車、ローダー、ベルトコンベヤー、パッセンジャーステップなど190台の地上支援装置(GSE)の多くにHVOの使用を拡大する計画を示している。これは、GSEを電動式のものに代替する試験を進め、本格的に導入するまでの期間、温室効果ガス排出量を削減するための暫定的な措置とするもの。

HACTLのウィルソン・クオン・チーフエグゼクティブ(写真左)とシェル香港のアン・ユー・マネジングディレクターがMoUに署名した

記事中
(1/2ページ)

記事中(1/2ページ)

Daily Cargo
〈紙面版〉

紙面1/2ページを活用した広告枠です。
「Air」「Logistics」「Ocean」の各カテゴリーから掲載先をお選びいただけます(ページ指定はできません)。

■広告寸法: 天地120mm×左右180mm
■掲載回数: 1回
■料　　金: カラー250,000円(税別)／モノクロ170,000円(税別)

※掲載希望の方は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載日がある場合は、お早めにお問い合わせください。

Cargo 2025年2月12日(水) 第三種郵便物認可 Air Logistics Ocean 5

除外一転、体制整うまで維持

■米国の対中デミニミス

米国は4日午前0時1分(米東部時間)から、中国(香港含む)の輸入品に対する10%の追加関税を課すとともに、関税などが免税されるデミニミスの適用除外としたが、トランプ米大統領は5日、デミニミスについては、関税収入を完全かつ迅速に処理し、徴収する適切なシステムが整うまでの間、従来通りに適用するという大統領令に署名した。追加関税やデミニミスを巡っては、現場の混乱が見られていた。米国郵政公社(USPS)は4日、中国郵政と香港郵政の国際郵便と航空小包の受け入れを一時停止するとしたが、5日には一転して継続すると発表。米国税関・国境警備局(CBP)と緊密に連携し、配達への影響を最小限に抑えるため、新たな関税に対する効率的な徴収メカニズムを導入したとしている。また、8日付ロイター電では、ニューヨークJFK空港で100万個以上滞留している荷物について、CBPや物流会社幹部が6日に対応を話し合ったと報じている。

越境eコマース(EC)ではデミニミスの利用が世界的に一般的だが、中国発ECの小口貨物が、米国が長らく社会的課題としている医療用麻薬オピオイド「フェンタニル」を含めた麻薬密輸で悪用されているとして、適用除外としていた。米国のデミニミスの2024年の輸入件数(B/L件数)は前年比36%増の13億6000万件と伸び、22年比で倍増。輸送手段では航空が大半を占めており、航空の輸入件数は前年比25.0%増の11億件と伸び、22年比から倍増している。増加分の大半は中国発越境ECでの利用とされる。アジア発北米向け航空マーケットの需給ひっ迫の主因である中国発越境ECに対するデミニミス措置の影響が注視されている。

貨物売上高9%増、EC需要増などで

■大韓航空<24年10～12月期暫定決算>

大韓航空(KAL)は7日、2024年通期(1～12月期)の暫定決算を発表した。10～12月期(第4四半期)の売上高は前年同期比1%増の4兆296億ウォン(約472億円)。このうち旅客は前年同期比3%減の2兆3746億ウォン、貨物は9%増の1兆1980億ウォンだった。貨物は中国発eコマース(EC)需要や年末商戦期のシーズナル需要などがあり、底堅いニーズがある中で堅調さを維持した。

10～12月期の営業利益は約2.6倍の4765億ウォン。当期純利益は前年同期の2346億ウォンの赤字から2833億ウォンの黒字に転換した。

通期売上高は前期比10.6%増の16兆1166億ウォン、営業利益は22.5%増の1兆9446億ウォン、当期純利益は36.8%増の1兆2542億ウォン。通期売上高は過去最高額となる見通しだ。

25年第1四半期(1～3月期)については「世界的な政治環境の変化など、事業環境の不確実性が予測されるが、アシアナ航空との統合準備期間を経て、グローバル航空会社として競争力を強化していく」(KAL)としている。

貨物事業については、ECが引き続き貨物需要を牽引する中、事業ポートフォリオを多様化し、柔軟に供給を市場投入することで収益性を高める方針を示した。一方、旅客事業では長距離路線ニーズが継続し、中国路線の回復などが期待される。需要増が見込まれる路線を維持しつつ、不定期便を増やすことなどで収益の最大化を図るとした。

記事中
(1/4ページ)

記事中(1/4ページ)

Daily Cargo
〈紙面版〉

紙面1/4ページ分を活用した広告枠です。

「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリーを選択可能です(ページ指定は不可)。

■広告寸法: 天地60mm×左右180mm
■掲載回数: 1回
■料　　金: カラー120,000円(税別)／モノクロ90,000円(税別)

※掲載希望の方は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載日がある場合は、お早めにお問い合わせください。

2　第三種郵便物認可　2025年2月20日(木)　Cargo

展望台　関税管理とCLOの国際物流

第2次トランプ米政権が発足して1カ月が経った。国際物流に係る施策・方針では、関税関連やパナマ運河関連などがあった。

全体的には第1次政権時の施策・方針や前政権からの潮流も踏まえて予見可能なものもあれば、そうでないものもある。国際物流への影響は局所的に発生し、また、収束しているようだ。今後もさまざまな施策・方針が出されてくるだろうが、国や企業は関税を含めた貿易、国際物流・ロジスティクスを含めたグローバルサプライチェーンに対する専門性を高め、自らの戦略を持ったうえでの対応が必要になるだろう。

専門性については、今年1月30日に「EPA利用推進有識者勉強会」が発表した提言も含めた報告書が興味深いものだった。同勉強会は財務省関税局が昨年6月、経済連携協定（EPA）利用推進への課題と対応策検討のために立ち上げたもので、第2次政権誕生を予測したものではない。同報告書では、経営層が関税マネジメントの重要性を理解することが重要と指摘しており、世界の貿易環境が大きく変化する中、身近な関税ルールの専門家である通関士（通関業者）が、アドバイザーになれる可能性があるとして「EPA関税認定アドバイザー（仮称）」や養成講座の創設を提言している。

同勉強会では、西村あさひ法律事務所・外国法共同事業の米谷三以弁護士が昨年6月20日、関税に対する「戦略的思考」の必要性について発表している。その中で、「関税関連ルールは働きかけによって変化し得る。したがって、所与とせず、（経営）戦略的対応を考える余地がある。関係する手続・組織を踏まえ、適切な相手方に適切なタイミングで働きかけることが必要」としており、示唆に富む。

経営層の責任という点では、改正物効法で特定荷主には物流統括管理者（CLO）の選任が義務付けられた。業務内容を見ると国内のトラック輸送関連の内容が羅列されている。国際物流も管理する役割を担うが、当然のことであるため記載されていないに過ぎない。数千社とも言われる特定荷主は、国際物流に精通している役員級の人材を確保しているのか。それとも育成していくのか。

1911年に小村寿太郎外相の下で日米通商航海条約が発効し、関税自主権を回復したことで日本国は不平等条約の改正を果たした。戦後も数々の貿易摩擦に直面してきた。関税マネジメントに精通した経営層や国際物流の専門性を持つCLOの下、強い胆力と戦略性を持って世界に伍していくことを期待したい。　（井上昭憲）

コラム下

コラム下

Daily Cargo
〈紙面版〉

Daily　Cargoで毎日掲載するコラム「展望台」下の広告枠です。

■広告寸法：天地60mm×左右180mm
■掲載回数：1回
■料　　金：カラー250,000円（税別）／モノクロ170,000円（税別）

※掲載希望の方は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームからご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載日がある場合は、お早めにお問い合わせください。

Cargo 2025年2月12日(水) 第三種郵便物認可 Air Logistics Ocean 5

除外一転、体制整うまで維持

■米国の対中デミニミス

米国は4日午前0時1分(米東部時間)から、中国(香港含む)の輸入品に対する10%の追加関税を課すとともに、関税などが免税されるデミニミスの適用除外としたが、トランプ米大統領は5日、デミニミスについては、関税収入を完全かつ迅速に処理し、徴収する適切なシステムが整うまでの間、従来通りに適用するという大統領令に署名した。追加関税やデミニミスを巡っては、現場の混乱が見られていた。米国郵政公社(USPS)は4日、中国郵政と香港郵政の国際郵便と航空小包の受け入れを一時停止するとしたが、5日には一転して継続すると発表。米国税関・国境警備局(CBP)と緊密に連携し、配達への影響を最小限に抑えるため、新たな関税に対する効率的な徴収メカニズムを導入したとしている。また、8日付ロイター電では、ニューヨークJFK空港で100万個以上滞留している荷物について、CBPや物流会社幹部が6日に対応を話し合ったと報じている。

越境eコマース(EC)ではデミニミスの利用が世界的に一般的だが、中国発ECの小口貨物が、米国が長らく社会的課題としている医療用麻薬オピオイド「フェンタニル」を含めた麻薬密輸で悪用されているとして、適用除外としていた。米国のデミニミスの2024年の輸入件数(B/L件数)は前年比36%増の13億6000万件と伸び、22年比で倍増。輸送手段では航空が大半を占めており、航空の輸入件数は前年比25.0%増の11億件と伸び、22年比から倍増している。増加分の大半は中国発越境ECでの利用とされる。アジア発北米向け航空マーケットの需給ひっ迫の主因である中国発越境ECに対するデミニミス措置の影響が注視されている。

貨物売上高9%増、EC需要増などで

■大韓航空<24年10～12月期暫定決算>

大韓航空(KAL)は7日、2024年通期(1～12月期)の暫定決算を発表した。10～12月期(第4四半期)の売上高は前年同期比1%増の4兆296億ウォン(約472億円)。このうち旅客は前年同期比3%減の2兆3746億ウォン、貨物は9%増の1兆1980億ウォンだった。貨物は中国発eコマース(EC)需要や年末商戦期のシーズナル需要などがあり、底堅いニーズがある中で堅調さを維持した。

10～12月期の営業利益は約2.6倍の4765億ウォン。当期純利益は前年同期の2346億ウォンの赤字から2833億ウォンの黒字に転換した。

通期売上高は前期比10.6%増の16兆1166億ウォン、営業利益は22.5%増の1兆9446億ウォン、当期純利益は36.8%増の1兆2542億ウォン。通期売上高は過去最高額となる見通しだ。

25年第1四半期(1～3月期)については「世界的な政治環境の変化など、事業環境の不確実性が予測されるが、アジアナ航空との統合準備期間を経て、グローバル航空会社として競争力を強化していく」(KAL)としている。

貨物事業については、ECが引き続き貨物需要を牽引する中、事業ポートフォリオを多様化し、柔軟に供給を市場投入することで収益性を高める方針を示した。一方、旅客事業では長距離路線ニーズが継続し、中国路線の回復などが期待される。需要増が見込まれる路線を維持しつつ、不定期便を増やすことなどで収益の最大化を図るとした。

求人

求人

Daily Cargo 〈紙面版〉

人材募集用のリーズナブルな料金設定の求人広告です。

「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリーを選択可能です(ページ指定は不可)。

■広告寸法: 天地60mm×左右180mm
■掲載回数: 4回／1セット
■料　　金: カラー300,000円(税別)／モノクロ200,000円(税別)

※掲載希望の方は、営業担当または海事プレスONLINE「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。

記事体広告（1ページ）

Daily Cargo
〈紙面版〉

記事広告1ページ分の広告メニューです。キーマンインタビューや新サービス紹介、周年企画などの企業PRを実施することが可能です。

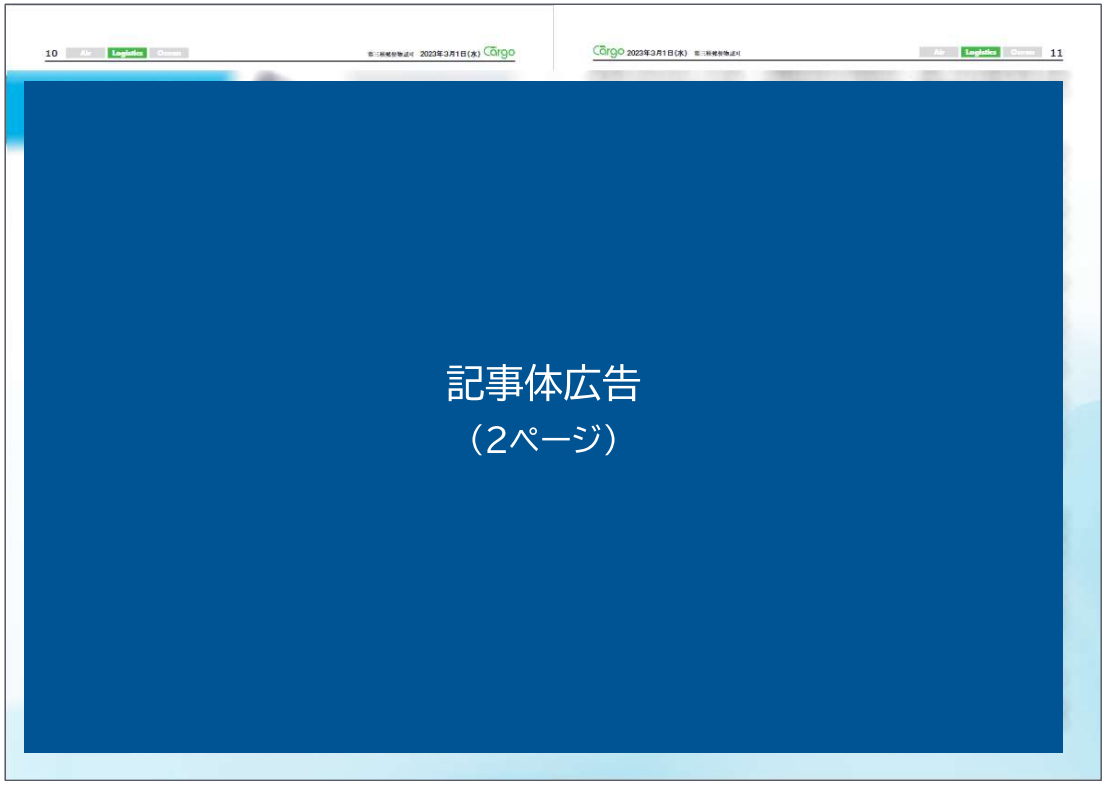
「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリーを選択可能です（ページ指定は不可）。

■原稿分量：本文は約1,000文字、画像2～3点を推奨
■掲載回数：1回
■料　　金：カラー650,000円（税別）／モノクロ450,000円（税別）

※上部に「PR」と表示されます。
※当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。
※ご要望に合わせた紙面デザインを作成し、ご確認いただけます。
※お申し込み状況や紙面構成の都合により、ご希望の掲載日に添えない場合がございます。ご希望の掲載日がある場合は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームより、お早めにお問い合わせください。

Daily Cargo
〈紙面版〉

記事体広告（2ページ）



見開き2ページ分を活用し、キーマンインタビューや新サービス紹介、周年記念などの企業PRを実施することが可能です。
「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリーを選択可能です（ページ指定は不可）。

■原稿分量：本文は約2,000文字、画像5～6点を推奨
■掲載回数：1回
■料　　金：カラー　1,300,000円（税別）
　　モノクロ　900,000円（税別）

※上部に「PR」と表示されます。
※当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。
※ご要望に合わせた紙面デザインを作成し、ご確認いただけます。
※お申し込み状況や紙面構成の都合により、ご希望の掲載日に添えない場合がございます。ご希望の掲載日がある場合は、営業担当またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」フォームより、お早めにお問い合わせください。